

特集

東京2020オリンピック

聖火リレー



1

駆け抜けました

安来市の聖火ランナーの皆さん

| 走順 | 氏名 |
|----|--------|
| 1 | 大和飛鳥さん |
| 2 | 本田紘章さん |
| 3 | 口村詩乃さん |
| 4 | 安部克浩さん |
| 5 | 岩田仁志さん |
| 6 | 矢田敦子さん |
| 7 | 金見誠司さん |
| 8 | 岡本貢さん |
| 9 | 板持浩二さん |
| 10 | 佐藤陽介さん |
| 11 | 門脇豪さん |
| 12 | 杉原勉さん |
| 13 | 瀬尾桂さん |

1年の延期を経て迎えた聖火リレー

昨年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で延期となった東京2020オリンピックの聖火リレー。

1年の延期を経て、3月25日に福島県檜葉町を出発した聖火は、約1万人の聖火ランナーによりリレーされ、オリンピックの開会式が予定されている7月23日までの121日間にわたり、全国を巡ります。

島根県内は、5月15日に津和野町をスタート。2日間で179人のランナーが、14市町村を駆け抜けま

した。

5月16日に安来駅前をスタート

安来市では、5月16日の午後5時25分から聖火リレーがスタート。安来駅前から城谷交差点まで、2・4キロメートルの区間を13人のランナーが走りました。

13人のランナーは、県公募による市町村代表ランナー2人とリレー公式スポンサーから選ばれた11人。

沿道で応援する多くの市民の皆さんに見守られながら、トーチキスでつないだ聖火を、ゴール地点の城谷交差点まで運びました。



聖火が安来のまちを



①安来庁舎前に集まった沿道の観客に手を振る第5走者の岩田仁志さん。②岩田さん（左）と第6走者の矢田敦子さん（右）が安来庁舎前でトーチキス。③ウェルカムプログラムとして地元太鼓団体による「伯太太鼓」が披露されました。④尼子鉄砲隊の号砲で矢田さんが出発。⑤走り終えたあと、観客と笑顔を交す岩田さん。⑥天国の父に向けてポーズを取る第9走者の板持浩二さん。⑦手書きのプラカードでランナーを応援する子どもたち。⑧軽快なリズムで次のランナーまで聖火をつなぐ第12走者の杉原勉さん。⑨手作りのプラカード。聖火リレーに花を添えました。

問い合わせ
文化スポーツ振興課
TEL 23-3075

